



神経内科のご紹介

頭痛、ふるえ、ふらつき、しびれ… 受診科目に迷ったら神経内科へ

「神経内科」という、診療科目をご存知でしょうか。日本神経学会神経内科専門医である河端聡医師が担当し、「神経内科」と「頭痛外来」を開設し多くの患者さまが来院されています。

「神経内科」は、脳、脊髄、末梢神経・神経筋接合部・筋肉に異常がある患者さまを診る内科で、症状としては頭痛・ふるえ・めまい・ふらつき・しびれ・力が入らない・転びやすい・話しにくい・もの忘れなど多岐に及びます（別表参照）。「心療内科」や「精神科・神経科」と名前が似ていることから、勘違いしてしまう人も多いですが、「神経内科」は内科であり、私たちの生活にもっとも身近な科目であるといっています。

頭痛やふるえなどの症状はどれもつらいもので、生活の質を低下させるものです。そして、多くの人が、「まずどこの科を受診すればいいのか分からない」と悩む症状ばかりです。

また、他科を受診して「原因が分からない」、「年齢のせい」と言われて、諦めながら症状と向き合っている人も多いでしょう。

「そのような人も、ぜひ神経内科を受診していただけたらと思います。すべての症状を改善させるのは時に難しいこともありますが、少しでも症状が改善する・うまく症状と付き合っていけるお手伝いができたらと思います」。

症状や所見によっては、ほかの科目（脳神経外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科・神経科、心療内科など）の診察を受けることが望ましいと、判断されることもあります。

原因の分からない頭痛やふるえ、ふらつきなどの症状に悩んでいる人は、神経内科が“入り口”になれることもあります。まず一度、相談をしてみてください。

神経内科で扱う主な病気

▼脳の病気

脳血管障害、髄膜炎、脳炎、パーキンソン病、パーキンソン症候群、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、神経ベーチェット症候群、ハンチントン舞踏病、頭痛、認知症、てんかん、不随意運動（振戦、チックなど）、脳腫瘍、脳膿瘍、慢性硬膜下血腫、脳性麻痺

▼脊髄の病気

脊髄炎、頸部脊髄症、頸部脊椎間板ヘルニア、後縦靭帯骨化症、脊髄空洞症、筋委縮性側索硬化症、スモン、家族性痙攣性対麻痺、HAM、亜急性脊髄連合変性症、脊髄外傷、脊髄腫瘍、脊髄血管障害

▼末梢神経の病気

多発神経炎、単神経炎、多発性単神経炎、絞扼性神経炎、顔面神経麻痺、三叉神経痛、助間神経痛、坐骨神経痛、ギラン・バレー症候群、CIDP、ライム病、顔面攣縮、中毒性ニューロパチー（砒素、薬物）、代謝性ニューロパチー（糖尿病、尿毒症）、栄養障害ニューロパチー（アルコール、脚気、ペラグラ）、癌性ニューロパチー、シャルコー・マリー・トウス病

▼筋肉の病気

筋ジストロフィー、多発筋炎、重症筋無力症、ミトコンドリア・ミオパチー、遠位型ミオパチー、代謝性ミオパチー、内分泌障害によるミオパチー、先天性ミオパチー、先天性筋強直症、周期性四肢麻痺

◇◇神経内科外来診療案内◇◇

●受付時間

新患受付時間 16:00 まで

再来受付時間 16:30 まで

●診療時間

初診・再診共に 月曜日～金曜日 午前 8:45～12:30

午後 1:30～05:00

土曜日

午前 8:45～12:30

※ご来院の際は、前もって担当医師の休診の有無を電話で確認の上ご来院ください。

※新患の場合は、診療終了の1時間前には受付をして下さい。



医師 河端 聡

鹿児島大学医学部 卒業

日本神経学会神経内科専門医

日本内科学会認定内科医

日本神経治療学会所属

日本医師会認定産業医



医療法人元生会

愛生病院

〒078-8340 旭川市東旭川町共栄2 2 3 番 6

Tel: 0166-34-3838

<http://aisei-hp.jp>